

# 令和4年第3回室蘭市教育委員会定例会

## 会議録

## 令和4年第3回室蘭市教育委員会定例会

1 日 時 令和4年3月30日(水)  
開会 午後4時00分  
閉会 午後5時00分

2 場 所 入江運動公園総合体育館

3 本日の議事日程

日程	番号	件 名
第1		会 議 録 署 名 委 員 の 指 名
第2		会 議 録 承 認 に つ い て
第3	報告第1号	令和4年第1回室蘭市議会定例会議事内容に関する件
第4	報告第2号	室 蘭 市 教 育 委 員 会 4 月 行 事 予 定 の 件
第5	報告第3号	教 育 機 関 に 対 す る 寄 附 採 納 の 件
第6	報告第4号	室 蘭 市 教 育 支 援 委 員 会 諮 問 に 対 す る 答 申 の 件
第7	報告第5号	室蘭市教育委員会臨時代理の件(室蘭市立学校職員の人事内申の件)
第8	議案第1号	室 蘭 市 教 育 委 員 会 事 務 局 職 員 等 の 人 事 発 令 の 件

4 出席委員 國枝教育長 前田委員 稲川委員

5 説明員 伊藤教育部長 坂口総務課長 河内指導主事  
山口学校教育課長 佐々木生涯学習課主幹 佐藤生涯学習課主幹  
伏見図書館長 本野学校給食センター所長

國枝教育長

ただ今から、令和4年第3回室蘭市教育委員会定例会を開会いたします。

日程第1「会議録署名委員の指名」を行います。本日の会議録署名委員に稲川委員を指名いたします。

次は、日程第2「会議録承認について」であります。令和4年第2回定例会の会議録は、先日、委員の皆様以案として配布いたしております。配布案のとおり、承認することにご異議ありませんか。

( 異議なし )

國枝教育長

ご異議がありませんので、承認いたします。

次は、日程第3「報告第1号 令和4年第1回室蘭市議会定例会議事内容に関する件」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

伊藤教育部長

それでは「報告第1号 令和4年第1回室蘭市議会定例会議事内容に関する件」について、ご説明いたします。

報告第1号別紙をご覧ください。このたびの第1回市議会定例会は、2月28日から3月28日までの会期29日間で開催されたところでございます。今回の本会議では、代表質問で5人中4人の議員から、一般質問で7人中4人の議員から教育行政に関わる質問がありました。質疑の議事内容は、各ページに質問要旨と答弁内容を載せてございますが、時間の関係上、主な質問項目の概略を説明させていただきますので、よろしく願いいたします。

まずは、代表質問です。最初に、1ページから2ページまでは、市民ネットむろらの水江一弘議員からの質問で、学校給食センターの方向性についての質問があり、登別市との協議を進め、来年度中に共同化を目指すか否かの方向性を決めたい旨、市長から答弁しております。

次に、3ページから7ページまでは、市政結和の金濱元一議員からの質問で、学校適正配置計画に関し、地域の将来像を見据えた取り組みの必要性、地域における学校の位置付け等についての質問があり、長期的な視点での学校づくりには、まちづくりの立地適正化計画の観点のほか、現実的な児童生徒数推計を行うなど、様々な視

点を加味するため、関係部局との連携により慎重に取り組む旨、コミュニティ・スクールの枠組や地域と学校の関係性を含めて、地域と一体となった学校づくりを推進していく旨、答弁しております。

次に、8ページから14ページは、公明党室蘭市議会の細川昭広議員からの質問で、新たなスポーツ施設と地域のまちづくりや賑わいについての考え方、質の高い教育活動の構築に関し、英語検定の支援などの考え方についての質問があり、新体育館内において、他の公共施設や地域商店街の情報等を提供できるデジタルサイネージの設置、公園内の広場整備など、地域の交流、賑わい創出につながるよう進めるほか、大会、合宿の誘致などを推進する旨、英語検定の支援については、英語を中心としたグローバルな視点を育む施策の展開を図る旨、答弁しております。

次に、15ページから20ページは、日本共産党室蘭市議団の田村農夫成議員からの質問で、GIGAスクール構想の推進では、子どもと教師の心の通う授業ができないのでは。さらに、教員の多忙化の解決になるどころか、教員は多忙になるのでは、などについての質問があり、ICT端末の活用はあくまでもツールで、一人一人の子どもが学習状況に応じて最適な学びを行うことができる利点と、これまでの教育実践が融合された教育を目指している旨、教員の多忙化については、教育ヘルプデスク、教育研究所、ICT担当教員との連携により、教員の負担軽減に努めている旨の答弁をしております。

次に、一般質問です。21ページから23ページは、市民ネットむろらんの滝口紘子議員からの質問で、ことばの教室に通えない幼児への対応の考え方、言語通級の巡回指導の拡充についての質問があり、ことばの教育に通えない幼児については、個々のケースにより様々な事情等があることから、関係部署、機関と情報共有を図り、相談、支援の対応を行っていく旨、言語通級の巡回指導については、今年度の検証のほかに、自校通級の希望児童数の把握や人材確保等が図られるように努め、取り組みを進めていく旨、答弁しております。

次に、24ページから27ページは、市政結和の鈴木和彦議員からの質問で、プログラミング教育の課題、企

業との連携について、検定試験への支援の見解などについての質問があり、プログラミング教育の課題については、プログラミング教材の導入に当たり、互換性が課題となっていることから、教育委員会より利用できる教材情報を提供し、企業との連携については、室蘭工業大学や市内企業等、産学官民の連携による取り組みを目指す旨、検定試験への支援については、まずは英語検定から、支援策を検討する旨、答弁しております。

次に、28ページから29ページは、公明党室蘭市議会の砂田尚子議員からの質問で、大規模地震等の際の避難所としての学校施設利用計画の策定などについて質問があり、先進都市の事例も参考にしながら、学校、地域、教育委員会、防災対策課の連携のもと整備を図る旨、答弁しております。

令和4年第1回市議会定例会、議事内容につきましては、以上でございます。

國枝教育長

ただいまの説明に対しまして、ご質問等は、ありませんか。今回の議会は病院とフェリー関係が中心だった感じがします。ほかに、ありませんか。それでは、報告第1号は終了といたします。

次は、日程第4「報告第2号 室蘭市教育委員会4月行事予定の件」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

坂口総務課長

「報告第2号 室蘭市教育委員会4月行事予定の件」のうち、主なものにつきまして、ご説明いたします。次のページの報告第2号別紙をご覧ください。

はじめに、学校教育課でございます。6日に、各小中学校で一学期の始業式が行われるほか、6日から8日までに、各小中学校の入学式が行われます。次に、生涯学習課でございます。はじめに、社会教育では、7日に、令和4年第2回社会教育委員の会が行われます。次に環境科学館では、随時、スポットサイエンスが開催されるほか、24日には、科学技術週間協賛行事としてプラネタリウム無料投影が、29日・30日は、室蘭工業大学ロボットアリーナイベントが開催されます。次に民俗資料館では、24日に、しいたけ植菌体験学習会が開催さ

れます。次に市民美術館では、17日まで「北田弘美展」が、19日から24日まで「新道展室蘭支部展」が開催されます。次にスポーツでは、8日に、レッツスポーツ、フィジカル（プラス）が、新総合体育館で開講します。次のページ図書館でございます。おはなし会、親子読書ふれあい事業（ブックスタート）などが随時開催されるほか、別紙には記載していませんが、2日にキッズシアターが開催されます。次に港の文学館では、8日から、企画展室蘭市開港150年市制施行100年記念事業前期「芥川賞の歴史」～時代を繋ぐ地元ゆかりの3人の芥川賞作家が開催されます。説明は以上でございます。

國枝教育長

ただいまの説明に対しまして、ご質問等は、ありませんか。入学式などはコロナの関係がありますので、来賓は呼ばずに対応いたします。親の人数制限や、式では歌を歌わないなど時間を短縮していく予定です。ほかに、ありませんか。それでは、報告第2号は終了といたします。

次は、日程第5「報告第3号 教育機関等に対する寄附採納の件」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

坂口総務課長

「報告第3号 教育機関等に対する寄附採納の件」についてご説明いたします。次のページの報告第3号別紙をご覧ください。

寄附採納は3件でございます。1件目は、一般社団法人室蘭地区自動車協会様より、防犯ブザー660個、金額にいたしまして50万円相当の寄附をいただいたもので、児童の登下校時の安全確保に活用させていただきます。2件目・3件目は、ふくろうの会様より、図書20冊、金額にいたしまして、525,910円相当、また、図書15冊、金額にいたしまして、827,530円相当の寄附をいただいたもので、それぞれ読書普及のために活用させていただきます。説明は以上でございます。

國枝教育長

ただいまの説明に対しまして、ご質問等は、ありませんか。防犯ブザーは20年以上毎年、新入生のためにご

寄附を頂いております。ほかに、ありませんか。それでは、報告第3号は終了といたします。

次は、日程第6「報告第4号 室蘭市教育支援委員会諮問に対する答申の件」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

山口学校教育課長

「報告第4号 室蘭市教育支援委員会諮問に対する答申の件」についてご説明申し上げます。

本件は、児童生徒の就学先に関します室蘭市教育支援委員会での審議結果につきまして、昨年11月24日のご報告以降の会議での判定内容について、ご報告するものでございます。次ページの報告第4号別紙をご覧くださいと思います。上段の表の在学児童・生徒の判定結果でございますが、26名が新たに判定を受けており、同様に、中段の表の初就学児童は16名が新たに判定を受けており、判定結果の内訳はご覧の通りですが、今年度の受診総数は合計223名でございます。昨年度の受診総数206人から17人の増となっております。また別紙で机上に参考資料を置かせて頂きましたが、この資料は本市と登別市、また全道の特別支援学級の在籍数と割合をまとめたものとなっておりますので、ご参考下さい。説明は以上でございます。

國枝教育長

ただいまの説明に対しまして、ご質問等は、ありませんか。

稲川委員

室蘭が突出してずいぶん多いと思っていましたが、全道の方が少しいてきているというとおかしいですが、自閉症と情緒の子の割合が、なぜ10年、20年でこんなに増えてきているのか、どう分析すればいいのかと思います。

國枝教育長

健診や幼稚園、保育所などでも障がいの関係は対応しているのですが、そういう意味では早期発見に繋がっているのかもしれないですね。

山口学校教育課長

特殊学級から特別支援学級に制度が変わったのが、平成18年頃であり、制度が大きく変わりはじめて、支援

学級が増えた要因のひとつと考えております。またインクルーシブに切り替わってきており、子供の数は減っているが支援学級の在籍者は増えてきているというのが、ひとつの流れになってきているのかと思われま

國枝教育長

その頃から、普通学級に在籍して必要な授業の時などに特別支援学級で授業を受ける流れになっているのですか。

山口学校教育課長

インクルーシブになると、そのような流れになっていきます。

稲川委員

インクルーシブになったからですか。

山口学校教育課長

本来ならば、インクルーシブになることで通常学級に在籍して、困ったときに取り出せるようになればよいのですが、そこまでうまく機能しきっているかといわれれば、自信がないところではあります。

伊藤教育部長

発達障がいの子供たちを随分見つけられるようになったというのは大きいと思います。例えば多動の子など結構見つかるようになりました。多動の子たちは基本的に情緒学級に在籍します。支援学級数の増加はそういった所が要因かなと思います。特別支援学級に在籍しながらも、例えば通常学級で受ける事が可能な教科につきましては通常学級にてその教科の授業を受けて、どうしても落ち込んでしまう教科の時は特別支援学級で一から学んでもらう、そういう体制が今は多いのかなと思います。

稲川委員

それは、マスが増えることにはならないのですか。皆でよく考えて、あまりに見つけすぎて、皆さんの負担になるのではなく、見つけられることによって良かったというように、1年生でこうゆう感じだけれども、2年生、3年生になって普通学級に入っていくというようになればいいですが、最初は普通学級だったけれど、追いつかないからやっぱり支援学級のほうが良かったという形だとすると、大抵は最初から入った方が良いのかと思います。年度、年度で子供たちを再評価してるのは正しいと思いますが。

伊藤教育部長

保護者の方は最初は通常学級に入れたいと強く希望される方は今もいらっしゃいます。まずは通常学級に在籍して頂いて、3ヶ月後くらいに一度保護者の方とお話して、また3ヶ月後くらいに保護者の方に状況を伝えて、次の年に特別支援学級に在籍替えというパターンもちらちらとは、学校現場から報告があがってきております。

稲川委員

お母さん方が、どう受け入れるかということもありますからね。参観日、運動会、学芸会などで自分の子供がどうなってしまうのかということもあります。

伊藤教育部長

例えば特別支援学級に在籍したとしても、学校の方は受け入れないということではないので、そういったことの見通しもお話しすると、安心してお子さんをまずは特別支援学級に在籍させる保護者の方も増えてきている気がします。

稲川委員

判定基準もちゃんとしているし、それはいいのですが、なぜ室蘭だけが高く登別は低いのかとか、全道よりかなり高い時期があったので、それはなぜなのか。そこは、医者や、小児精神科医たちが分析しなきゃいけないことかもしれません、なかなか資料がないのと親子の学歴だとか、いろんなこと背景があるのでしょう。室蘭特有の何かがないとよいのですが。そういう意味で比較をしていかないと、事実だけを見ていると、ちょっと多いという感じがあります。

國枝教育長

引き続きまた、データ収集してエビデンス内容など確認していくような作業を進めさせていただきたいと思えます。

稲川委員

やはり全道、全国と同じような就学時前の判定基準と同じ共通のものがあるということが前提です。

國枝教育長

スタートが違えば当然違いが出てきますので、スタートは一緒に、そこからどうか、ということですから。ほかに、ありませんか。それでは、報告第4号は、終了し

ます。

次は、日程第7「報告第5号 室蘭市教育委員会臨時代理の件（室蘭市立学校職員の人事内申の件）」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

山口学校教育課長

「報告第5号 室蘭市教育委員会臨時代理の件（室蘭市立学校職員の人事内申の件）」について、ご説明申し上げます。

本件につきましては、令和4年4月1日付けの室蘭市立学校職員の人事発令に係る内申について、教育委員会臨時会を招集するいとまがないことから、令和4年3月4日に室蘭市教育委員会教育長に対する事務委任等規則第3条第1項の規定により、教育長がこれを臨時代理したものであり、同条第2項の規定により報告するものでございます。次に、臨時代理の内容でございますが、報告第5号別紙の令和4年度室蘭市立学校職員人事異動内申書をめくっていただきまして、最初のページが校長の人事異動内申書でございます。この内申書の表の見方でございますが、1番左の列が今回異動対象となる学校名、次の転出と記載された列が校長の退職又は転出先、転入と記載された列が、後任の校長の前任校や氏名等でございます。例えば、中程の地球岬小ですが、大須賀校長が海陽小へ市内異動となり、後任の校長には苫小牧市勇払小の森校長が配置されることとなります。校長の人事異動ですが、定年退職が3人、市内異動が1人、となり、代わって、市外からの転入が2人、市内異動が1人、市内での校長採用が1人となります。続いて、次のページの教頭人事異動でございます。教頭の人事異動ですが、定年退職が1人、市内異動が3人、市外への転出が3人、市内での校長昇任が1人、校長昇任での市外転出が2人となり、代わって、市外からの転入が5人、市外からの教頭昇任が1人、市内異動3人、室蘭市教育委員会からの転入1人となります。次ページからは、一般教職員の異動となりまして、小学校教諭、中学校教諭、養護教諭、事務職員につきましてはご覧のとおりとなっております。以上でございます。

國枝教育長

ただいまの説明に対しまして、ご質問等は、ありません。

んか。

前田委員

再任用は何年くらい認められるのでしょうか。

伊藤教育部長

65歳まで5年間です。年金の出る年齢までです。

國枝教育長

ほかに、ありませんか。それでは、報告第5号は、終了します。

次は、日程第8「議案第1号 室蘭市教育委員会事務局職員等の人事発令の件」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

坂口総務課長

「議案第1号 室蘭市教育委員会事務局職員等の人事発令の件」についてご説明いたします。議案第1号別紙をご覧ください。

はじめに「1. 退職発令」でございます。國枝教育長、河内指導主事の2名が退職となっております。なお、河内指導主事は、4月から海陽小学校の教頭となっております。

次に「2. 特別職発令」では、教育部長の伊藤博明が、教育長となっております。28日に市議会において同意されたところでございます。

次に「3. 部長職発令」では、総務課長の坂口淳が、教育部長となっております。

次に「4. 採用発令」、「5. 兼職発令」では、室蘭市立翔陽中学校教諭の棟方伸吾が、教育部指導主事となっており、教育部教育研究所主任所員兼職となっております。

次に「6. 課長職発令」では、生涯学習課主幹佐々木真美が、健康推進課主幹として、室蘭市に出向となっており、保険年金課長の山崎美妃が、生涯学習課長として教育委員会へ転入となっております。

次に「7. 課長職事務取扱」では、教育部次長西舘武志の、生涯学習課長事務取扱を解き、教育部長坂口淳が、総務課長事務取扱となっております。

次に「8. 課長補佐職発令」では、総務課総務係長の船橋晶が、総務課課長補佐に昇任となっております。

次に「9. 係長発令」では、生涯学習課主査の松田宏

介が、土木課主査として、室蘭市に出向となっております。保健福祉部健康推進課新型コロナワクチン係長の佐藤知子が生涯学習課主査として、転入となり、総務課総務係の土橋健児が、総務課総務係長に昇任となっております。

次に「10. 係長職事務取扱」では、少年補導センター所長事務取扱について、教育部次長の西舘武志から、転入となります生涯学習課長山崎美妃に、変更となります。

次に「11. 係員発令」では、室蘭市へ出向としては、学校教育課学務係の小野遥香が総務課契約係に、生涯学習課の岸本寛美が企画課企画係に、図書館の畑田佑介が保険年金課保険料係に、稲田康平が市営住宅課管理係となります。教育委員会への転入としては、環境課環境係の菊地優大が総務課総務係、職員課職員係の小林裕史が学校教育課学務係、総務部付きの橋場亮介が生涯学習課、水道部料金課の棟方大樹が図書館となっております、新採用の山下桃花が学校教育課学務係となっております。

なお、退職発令が3月31日付、ほか全てが4月1日付の発令となっております。説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

國枝教育長

ただいまの説明に対しまして、ご質問等は、ありませんか。それでは、議案第1号は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(異議なし)

國枝教育長

ご異議がありませんので、原案のとおり可決いたします。以上で、本日の日程は、全部終了いたしました。これをもちまして、令和4年第3回室蘭市教育委員会定例会を閉会いたします。

本委員会の記録に相違ないことを証するため、ここに署名する。

室蘭市教育委員会教育長      伊 藤 博 明

室蘭市教育委員会委員      稲 川 昭

会 議 録 調 製 員      坂 口 淳